

学校教育目標



進んで学ぶ子

- ・よく聴き、よく考え、自分の思いや考えを進んで伝える児童
- ・自ら課題を発見し、見通しをもって解決する児童
- ・仲間と協力して学ぶ児童

思いやりのある子

- ・生命や自然を尊重し、他人のよさや自分との違いを認め、相手の気持ちに寄り添える児童
- ・進んであいさつをする児童
- ・きまりを守り、誰とでも協力できる子

たくましい子

- ・体を鍛える児童
- ・失敗を恐れず、粘り強く最後までやり抜く児童
- ・健康で安全な生活をする児童

「豊かな心」と「確かな学力」を身に付けた児童の育成

子どもたちが 笑顔や真剣なまなざしで 生き生きと学び合う学校

児童が主役の学校
出発点は子供の事実

児童が受容され
自分の考えや思いが
大切にされる学校

仲間とのふれあいや
仲間と協力することに
喜びを感じることが
できる学校

学校、家庭、地域が
連携し
子供たちの成長を
支える学校

令和7年度の 重点・努力点

未来を
生き抜く力の
育成

I 確かな学力を育む授業の実践

- ①問題解決型（探究型）授業の充実
- ②【知識・技能】の着実な定着のための取組の実践
- ③体験的な学びの重視
- ④個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- ⑤学力・学習状況調査結果の活用

II 生徒指導・教育相談体制の充実

- ①受容と共感的理解による児童理解の推進
- ②積極的な生徒指導の推進
- ③学校や学級に來られない児童や問題行動を起こす児童の背景を理解した上での指導・支援
- ④いじめ未然防止プログラムの実践
- ⑤組織的対応
- ⑥ふれあい相談員・スクールカウンセラー・医療機関等との連携
- ⑦学校のきまりや指導内容に関する教職員の共通理解・共通行動
- ⑧命の大切さを伝える指導の充実

III 児童の居場所づくりの推進

- ①児童一人一人が活躍し、所属意識が持てる学年・学級経営
- ②互いの違いやそれぞれのよさを認め合い、尊重し合える人間関係の構築
- ③教育相談室・校内教育支援センターの環境整備

IV 特別活動の充実

- ①異年齢集団による活動の推進
- ②代表委員会を中心としたあいさつ運動の実施
- ③児童が主体的に活躍する学校行事の実施

VII 教育公務員としての自覚と誇り

- ①児童の人格形成に直接関与する者としての責任を自覚し、誇りをもって、人間尊重の精神に基づいた学校づくりに努力する。（〇児童の成長に直接関与できる喜びの実感〇児童の手本となる言動や振る舞い〇教職員事故防止研修等への主体的参加〇セキュリティポリシーの遵守）
- ②効率化や計画性を意識して職務にあたり、教職員自身が健康な生活を送れるよう努める。

VI 家庭・地域との連携

- ①学校運営協議会（コミュニティ・スクール）と地域学校協働活動本部の連携
- ②効果的な学校公開・保護者会の充実
- ③家庭との情報共有（学習面・生活面・人間関係）
- ④PTA・愛校会との連携
- ⑤幼保小中との連携
- ⑥地域の人材・教材の活用

V 安全・安心な環境の整備と保健安全教育の推進

- ①安全教育・危機管理の徹底（〇校舎内外・交通事故防止等の徹底 〇安全点検の確実な実施 〇地域・小中連携による災害時等の緊急対応マニュアルの確認）
- ②整理整頓・清掃環境美化活動の推進
- ③体力の向上をめざす教育活動の推進（体育の授業等の充実）